

新型コロナウイルスに対する園の対応

1 経緯

円山動物園は、基本的に屋外施設であることから、1月28日より正門・西門やレストハウスなどに消毒用アルコールを配置し、来園者の自主的な予防策を促しながら開園してきたが、2月28日に出された北海道知事の「緊急事態宣言」に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛へ協力するため、3月1日から3月31日まで休園している。

2 道内他施設の状況

- ・おたる水族館…消毒液や除菌マットを用意するとともに、館内の換気を徹底して、3月20日から営業を再開（来園者が密着する可能性のあるイルカショーは休止）。
- ・旭山動物園… 通常営業を継続（屋内のイベントは中止）。

3 再開に向けての考え方

円山動物園は基本的に屋外施設であることから、国の専門家会議が新型コロナウイルスの感染要因として指摘している①換気の悪い密閉空間、②人の密集、③近距離での会話や発声、には当てはまらないが、再開する場合でも、前記3要件に一つでも当てはまる可能性のある一部の屋内施設については閉館する必要があると考えている（下記参照）。

(1) 一部閉館する施設

- ・こども動物園等

(2) 全部閉館する施設

- ・熱帯鳥類館、は虫類・両生類館等

※動物科学館の木の子の砂場、サル山の子どもの遊び場、エゾシカ・オオカミ舎の子どもの遊び場は閉鎖